

新たな体制で 新年度スタート! 町職員の配置が変わりました

町長	新井 康之	副町長	三浦 道弘	教育長	原口 仁
課名	課長名	課長補佐名	担当名	主幹 (グループ長)	担当職員名
議会	及川 東				町田和久 (兼)新井琢郎
総務	関口敏夫	田島統子 新井琢郎	庶務	田島統子	横田未来 成野 央 三浦 峻
			地域支援・防災安全	新井琢郎	宮崎慎之輔 川村 匠 工藤麻里菜
企画財政	岩澤 清	眞仁田純哉	企画		宮川 聡 伊藤良隆 早坂涼太 紫藤歓大
			情報システム	大城丈矢	清水慧介
			企業誘致		
			管財	眞仁田純哉	片倉堅太郎 関根優太
税務	奥富 明	横手智子	課税	横手智子	大野香織 福島康平 三好莉煉
			収税	小泉直樹	深田 智 荒木健太
会計	(会計管理者) 奥泉和彦		会計	奥泉和彦	大田咲良
町民	吉田博光	田端美穂子	住民	田端美穂子	大野未菜 吉田百恵 境野元稀
			国保年金	吉田博光	宮崎達也 杉澤健一 横田周平 島田愛未 野口祐貴
健康福祉	町田京子	北川豊子 新井眞美彦	福祉	北川豊子	備前達也 長澤拓也 山口沙弓 近藤 大
			高齢者介護	新井眞美彦	奥泉隆雄 山口昌吾 折原大地 佐藤友紀
			保健予防	深田 希	菅谷幸子 新野見泉 栗島綾乃 古川瑛子 小久保侑菜
			包括支援	新井眞美彦	尾形 恵 阿部智子 徳永麻衣
子育て支援	岩崎貴美枝	原 典子	こども	原 典子	関口めぐみ 田島滯菜 城田愛友 相原華子
			越生保育園 (園長)	高野真吾	高橋麻美 島田沙織 中山彩也香 清野美奈子 鈴木茉実 樋口沙季
産業観光	関根睦生		農林梅	齊藤勇紀	池田好雄 前川 惇 小沢隆広 小川裕介 松本圭矢
			観光商工	鈴木崇弘	吉田 傑 小峰健聖
まちづくり整備	原 勝巳	大附克一郎 島田広満	まち企画	大附克一郎	北田朋己 須田司穂
			新エネルギー対策		
			道路河川整備	島田広満	深沢亮介 丹下坂祐太
水道	小沢和義		環境管理	原 勝巳	芹澤諒平 藤波志音 富田 鷹
			施設整備	石川淳一	松澤義幸 石田 祥 瓜田翔己 山口辰仁 房野圭輔 小峰範之 杉澤宏人
農業委員会	(兼)関根睦生		庶務	小沢和義	松澤義幸 石田 祥 瓜田翔己
学務	(指導主事) 松浦俊太郎		施設整備	石川淳一	山口辰仁 房野圭輔 小峰範之 杉澤宏人
生涯学習	坂口英夫		学務	芝田雅啓 (指導主事) 松村祐一	吉澤 仁 長島怜未
			生涯学習		沢田祐子 赤林慶一 小野隼輔 若林弘明 宮本匡崇
			文化財	坂口英夫	高井 望
図書館			図書館		(兼)沢田祐子 金子颯杜 (兼)赤林慶一 (兼)小野隼輔 (兼)宮本匡崇
			総務	田端博之	竹内研太郎
広域静苑組合	立川一紀 田端博之				
派遣	新井琢也 (埼玉県飯能県土整備事務所)				
専門官	田中 広				

令和8年4月1日現在

退職者 (令和8年3月31日付)

石川誠二 (まちづくり整備課) 岩田祥敏 (まちづくり整備課) 田中日向 (産業観光課) 森岡あい菜 (町民課)

新採用職員 (令和8年4月1日付)

三浦 峻 (総務課) 工藤麻里菜 (総務課) 関根優太 (企画財政課)
 境野元稀 (町民課) 野口祐貴 (町民課) 古川瑛子 (健康福祉課)
 相原華子 (子育て支援課) 松本圭矢 (産業観光課) 須田司穂 (まちづくり整備課) 富田 鷹 (まちづくり整備課)
 高井 望 (生涯学習課)

町長室から

越生町長
新井 康之



新年度 新採用職員は13名

4月1日午前8時、満開の桜が周囲を囲む視聴覚ホールで、「辞令交付式」を行いました。新規採用職員は13名、それぞれ個性があり越生町の未来を担うにふさわしい職員ばかりです。

辞令交付の後、公務員としての基本的な態度、越生町の歴史、文化、自然、産業を講話し、課題に対処する基本的な姿勢等を話しました。皆よく聞いてくれました。

今後の活躍を期待しています。



辞令交付式を行いました

梅園小の卒業式に出席

3月23日、梅園小学校の卒業式に出席しました。梅園小学校と越生小学校の卒業式と入学式はそれぞれ同じ日のため、毎年交互に出ています。今年度は越生小の卒業式は副町長が、梅園小は私が出席しました。

卒業生は、卒業証書を渡されると、壇上で英語、続けて日本語で、6年間で得た経験を、中学校生活に活かす決意、また自分の将来の夢を発表しました。その姿は堂々として見事でした。少人数学校ならではの成果だと思います。また、心を込めて卒業生を送る在校生の姿にも胸をうたれました。

梅園小学校は、文字通り梅に囲まれた素晴らしい環境にあります。6年間この梅の中を毎日通った児童たちとの別れを惜しむかのように、梅の花が静かに散っているのが印象的でした。

卒業生が、どこまでも伸びていくことを期待します。



▲梅小の卒業式で祝辞

市町名を書いた「越生泣うちわ」を持つサミット参加の首長



全国梅サミット開催

全国梅サミットを2月13日・14日、本町のニューサンピア埼玉おごせと越生梅林で開催しました。このサミットは梅を共通の資源とする、和歌山県みなべ町、福岡県太宰府市等全国13市町が加盟しています。

今年のテーマは「梅の可能性を引き出す～若者達と未来へ～」としました。梅は食・健康・観光など多くの可能性を持っています。本町の清和学園高等学校の生徒は、越生べに梅・柚子を素材としたチョコレートを開発したほか、梅を素材とする食品を開発しようとチャレンジしています。

記念講演は同校の生徒に「梅に気づかされた面白さと難しさ」と題し、また越生町出身の埼玉工業大学本郷照久教授に「越生梅林の剪定枝と梅の種を資源化～活性炭と食器の二本立てで梅のまちの資源循環～」と題した講演をしていただきました。本郷先生は、廃棄される梅の剪定枝から活性炭、種からバイオ炭配合プラスチック化する技術を開発されました。素晴らしい成果です。この講演会には多くの町民の皆さまにも出席していただきました。

また、「染の会」の皆さんは梅染の袋、「うちわ工房しまの」さんには、越生伝統の「越生泣うちわ」を作製していただき、各首長の記念品にしました。

次の日の2月14日の、越生梅林梅まつりのオープニングセレモニーは、サミット参加市町の首長に出席していただき、豪華なセレモニーとなりなした。その後、魁雪の苗木を記念植樹し、世界無名戦士之墓 霊廟を参拝・視察して、全国梅サミットは終了としました。